

南部片富士湖だより

No. 164 令和2年1月22日 発行

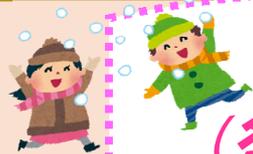
北上川ダム統合管理事務所 管理第二課

〒020-0123

盛岡市下厨川字四十四田1番地

TEL 019-643-7972

FAX 019-643-7976



第20回水源地子ども交流会 (冬の自然観察と雪遊び)が開催されました!



令和2年1月14日(火)に、国立岩手山青少年の家において、四十四田ダム水源地域ビジョン推進会議主催による「第20回水源地子ども交流会(冬の自然観察と雪遊び)」が開催されました。雪国で暮らす子どもたちに冬の自然学習を通じて雪の働きを知ってもらうことを目的として開催され、四十四田ダム水源地域(盛岡市・八幡平市・滝沢市・岩手町)から盛岡市・八幡平市・岩手町に住む8名の小学生が参加しました。

開会式の後の学習ではみんなの住む地域に降った雪や雨は北上川を経て四十四田ダムへ流れついていることやダムによって洪水などから守られていることを学びました。



開会式



自己紹介とミニゲームで皆さんに仲良くなりました



四十四田ダム水源地域のお話を聞きました



立体的な地図を使って水源地域の水の流れをみんなで確認

施設内の林を散策し、自然観察や雪遊びを楽しみました。雪についての足跡を見つけどんな動物の足跡か話し合ったり、冬でも葉を落とさない広葉樹についてなど、冬の自然について目で見ながら学習していました。



林を散策し動物の足跡を発見



かけっこしたり元気いっぱいの子どもたち



雪遊びには欠かせない雪合戦



テレビ局の取材ではインタビューされてドキドキの表情

スピードを競ったり回転しながら滑ったりと、子どもたちはそり遊びを満喫しました。



皆が楽しみにしていたそり遊び



色々な滑り方でそり遊びを満喫



滑り終わってみんなで記念撮影



閉会式では楽しかった1日を振り返りました

閉会式で子どもたちは、「そり遊びが楽しかった」「動物の足跡を見つけてうれしかった」などと感想を述べていました。

北上川の源流 「^{ゆはず いずみ}弓弭の泉」 を知っていますか？



岩手町の御堂観音の境内にある「弓弭の泉」は北上川の源流として古くから知られています。「弓弭」とは弓の先端部分のことで、この泉の由来となる伝説が伝えられています。

平安時代天喜五年（1057年）6月、この地方が「前九年の役」といわれる戦乱状態のお話です。



「弓弭の泉」がある岩手町の御堂観音



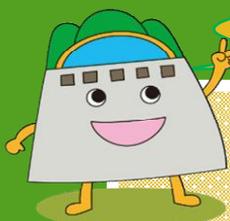
御堂観音の境内の大杉の根元

源頼義、義家父子は豪族安倍氏を討つために軍を進めていましたが、炎暑が続いていたため飲み水がなく兵馬ともに疲弊して苦しんでいました。義家は持っていた弓の「弓弭」で岩を突いたところ清水が湧き出し、兵馬はのどを潤すことができたそうです。その後義家は安倍氏を討ち、のちに「前九年の役」といわれる長く続いた戦いを鎮圧したといわれているそうです。



伝説の清水が今も静かに湧き出ています

みんなでつくろう！アイスクリーム作りと雪遊び♪



松園子ども自然観察園を きれいにする会からのお知らせ



- 日時** 令和2年2月2日（日）10:00～11:30 ※大雪・雨の時は中止です
- 参加費** 保険料等としてひとり50円
- 持ち物** アイスクリームを作る容器（缶）150cc～200ccのプラスチック、アルミ・スチール製の筒状のもの、ふたがしっかりしまるもの
- 服装** 雪遊びのできる服装、手袋はぬれないもの
- 連絡先・問合せ** 019-662-4080（池田さん）
019-662-6162（小林さん）



四十四田ダムの水質（12月11日採水）

- 水温 4.5 °C
 - PH 7.6
 - COD 1.8 mg/l
 - ヒ素 なし
- （水質悪化の指標：3以上）

今回の調査でも異常はありませんでした

編集後記



水源地子ども交流会に行ってきました。パワー全開の子どもたちの後息を切らしながら歩くのが精いっぱい、その日の夜は夢も見ないほど爆睡しました。今年は「体力をつける」ことを頑張りたいと思います。本年も引き続き「南部片富士湖だより」をどうぞよろしくお願いします。（内）